

四季を詠む

両山短歌会 五月詠草

赤城山千本桜と芝桜 菜の花畑に感嘆の声
あかぎやま

春来ても寒暖の差に冬物の整理がつかぬ戸惑いの日々

雪解けて埋れし階段姿見せ長きし冬のおわりを告げる

道端に今年も咲いたイヌフグリ小さき花に強さ秘めたり

青空に煙伸び行き雲となり彼の人思ふ涙雨かな

雪消えの遅い湯沢に桜咲き若葉芽吹いて燕来たり

遠目にも柳の芽吹きよつやくに残雪の中春を告げおり

登校の一年生は列になり上級生に守られ歩く

うらうらと桜並木を散歩する若き人らの姿まはゆし

夜空には無数の星が輝いて明日は豪雪解かしくれるや

魚沼の稲穂描きし画家の遺作限定販売ウイスキーラベルに

賜わりし桜草咲く厳冬をよくぞ耐えたと舌掛け讃つ

高橋 和枝

坂井 亮子

高波 大吾

笛田加代子

剣持 政子

鈴木スミ子

ケアハウスゆざわ 短歌

親孝行したい時には親は無しこの格言に反論のあり

遠山の残雪を背に稚魚放つ育ててくれし人に感謝感謝

関 ムツ

くみ

句会 紅山桜 当季雑詠

面妖な夢にうなされ春の風邪

啓蟄や疎まるること恐れずに

春めくや友と会う日の服選ひ

啓蟄や手足伸ばして大あくび

町道も幾重に積もり雪の壁

啓蟄や深き野原はいつつづる

ひな祭り灯付けましよエルイーディ

啓蟄や土中の息吹蓋つ白

雪堀りの一服長し齢なり

啓蟄や病もえずに良く生きた

美奈子

美玲

葉子

音希

津

ケアハウスゆざわ 俳句

俳句

無住寺の庭の広さや春の雪

万緑や国敗れても山河あり

ありがたや坐して喰つて花見かな

桜咲くよその知らせにうらやんで

突然の春の嵐に目がさめて

関 ムツ

くみ

みちよ

もの作りひろば 参加者募集！

「七夕飾り」を作ろう

- 日時 6月25日(水) 午後3時～4時30分
- 会場 旧湯沢町教育課 事務室
- 参加費 参加費 200円
- 対象 小学生
- 申込 前日までに地域交流センターへお電話ください。
- 問 地域交流センター ☎ 025 - 784 - 3033



特集

かわらばん

トピックス

情報

生活

学園

生涯学習・スポーツ

健康・医療

観光